

開催日時：平成25年7月16日（火）

14:00～15:40

開催場所：徳島市役所8階 庁議室

## 第4回 ひょうたん島川の駅ネットワーク市民構想会議

### 会議録（要約）

#### 【出席者】

委員：13人

阿部委員 大谷委員 岡部委員 勝浦委員 黒田委員 近藤委員  
長澤委員 中村委員 間委員 服部委員 真鍋委員 森竹委員 矢部委員

オブザーバー：7人

徳島県県土整備部 河川振興課  
徳島県県土整備部運輸局 運輸政策課港湾空港経営室

事務局：17人

都市整備部 再開発推進室ほか

傍聴者：0人

#### 【会議プログラム】

- 1 開 会
- 2 議 事
- 3 閉 会

#### 【会議の内容】

##### 1 開 会

挨拶（会長）

##### 2 議 事

（徳島市役所8階 庁議室）

会長により進行

- ・第2回ワークショップについて（報告）
- ・川の駅候補地の整備について
- ・拠点駅の駅舎について
- ・今後の進め方について
- ・意見交換及び質疑

#### 4. 閉 会

次回開催予定

次回の開催は、9月末を予定しています。

以 上

## 第4回市民構想会議のまとめ(平成25年7月16日)

注) 事務局意見は回答を求められた場合のみに発言した

キーワード	委員意見	事務局意見
助任橋袂棧橋第1案 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと川の中に出さないと、船が着けにくい。</li> <li>・30mくらいのポンツーンでないと難しい。</li> </ul>	
助任橋袂棧橋第2案 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り込んでいるので、船は着けやすい。</li> <li>・ポンツーンの観点から行くと、第2案の方がいい。</li> <li>・風下からアプローチしたり、風上からアプローチしたりということができる。</li> <li>・ポンツーンの奥行きが短く、2面性を使える。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーといわれるアプローチだが、なぜ一方方向でしか考えていないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点の素案であり、細かい部分は、今後の必要に応じて検討を行う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少しランドスケープとして、優しいつくり方ができないか。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船の縦着けは着けにくいという話があったと思うが、そういう面での配慮はどうなっているのか。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>潮によりポンツーンの右側、左側どちら側にも着けられるので着けやすくなっている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1:4の25%勾配は車いすにはきつくないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1:4は車いすの勾配ではありません。潮に対応する連絡橋の部分は、バリアフリーではないが、一番低い水位で1:4という技術基準は遵守しています。</li> <li>・船からあがって陸地でのスロープはユニバーサルデザインとしています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすの人が使う場合はどうするのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で、幅員も十分確保できないし制約もあるので、ある程度のサポートを前提とした中での1:4で計画しています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助けがあった場合でも、この急な勾配は設計的なもので無理があるといったものはないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かが必ずサポートするということが不可欠になります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡橋の両方に誰かいないといけないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それについてはまだ議論する余地はあります。</li> </ul>	

キーワード	委員意見	事務局意見
<b>助任橋袂棧橋第2案 について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の案でいくと、どうしても1:4の勾配になるということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・干潮時は1:4になりますが、満潮時にはほとんどフラットな状態になります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番リスクの高いところで判断していかないといけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勾配を緩くすることで、どんどん奥に入ったり、横にふっていく必要があるのでは、距離が長くなります。それについては今後検討する必要はあると思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーンを今10mにしているが、これを12mにするとだいぶ違って来る。2m前に出ると勾配も違って来る。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船を着けるのは、10mより12mのポンツーンの方が止めやすい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー、使いやすさには十分配慮していただきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーは車いすの人だけでなくいろんな人が使用するのでは、設計して使用する前には必ず、当事者に来てもらって使ってもらくというような配慮もお願いしたい。</li> </ul>	
<b>徳島文化公園前棧橋 について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今捨て石をしているところをだいぶカットしないと、船は入りにくいと思う。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捨て石を移動させるのは、大変である。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段は滑ったりして安全ではないので、利用しないほうがいい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーンの長さが10mになっているが、長さはどうか。 10mの所に着けるのは難しい。</li> </ul>	
<b>川側への張り出し について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の原案は、現況法線いっぱいになっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況法線いっぱいです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川の中央にポンツーンを出していけば、使いやすいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回提示した計画は護岸法線より内側でということで作成しているので、川の方への張り出しについては、改めて検討が必要です。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけポンツーンを前へ出した方が着けやすい。</li> </ul>	<p>【徳島県河川振興課の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見の趣旨は理解しますが、ポンツーンを護岸法線から川側へ出せるかどうかについては、改めて検討が必要となります。</li> </ul>

キーワード	委員意見	事務局意見
川側への張り出しについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助任橋袂栈橋のポンツーンを12mにするともっと前に出る。これも何か制限はあるのか。</li> </ul>	<p>【徳島県河川振興課の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川管理の考え方として、川側への張り出しは河積阻害などがあることから、簡単に許可できることではないことをご理解ください。</li> <li>それをふまえて徳島市も護岸法線より内側で案を検討していただいていると思いますので、川側への張り出しについては改めて検討が必要となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助任川の中央に向かって今10mになっているが、もっと川側に出してもよいのではないか。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助任橋袂栈橋のポンツーンが、12mあってもよいのではないか。</li> </ul>	<p>【徳島県河川振興課の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川側への張り出しの他、背後の陸側での処理を検討することは可能と思われます。</li> <li>・公園側はかなり改修が必要になると考えられます。</li> </ul>
案の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助任橋袂栈橋の第1案か第2案かという点、第2案をこの場で決定して進めていく。</li> <li>・次回第2案の修正案を提示してほしい。</li> <li>・徳島文化公園前の栈橋は、護岸に平行の栈橋とする。</li> </ul>	
確認事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助任橋袂栈橋 第2案について、ポンツーンの長さ10mを12mとして再検討するという点で良いか。その延長分の2mについては、川側への張り出しを河川管理者としては困難ということなので、基本的な考え方として、まずは既設護岸法線から川側へ出さずに陸地側で工夫ができるかどうかの検討をして頂くということでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討して、次回構想会議にて提示します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島文化公園前栈橋 案は、10mを12mにすることはできると思われるが、捨て石の移動や撤去の問題も出てくると思う。川側に張り出した方が船は着けやすいが、基本的に河川管理の考え方から川側への張り出しが困難であるので、捨て石の移動等で検討が必要になってくると思われる。数メートルの話なので、例えば、捨て石の積み直しや、護岸の矢板構造などが可能かどうかについても検討するという点で良いか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改めて河川協議を行って検討します。</li> </ul>

キーワード	委員意見	事務局意見
<p style="text-align: center;"><b>拠点となる川の駅舎について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船は1回に何台くらい接岸できるのか。観光スポットの一つとなると、かなり窮屈になるのではないか。</li> </ul>	
	<p style="text-align: center;">3台くらいは着けられる。船の台数も、今くらいがちょうどいい。ただ、雨天時に対応可能な船があったほうがいい。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主体は棧橋に関して誰になるのか、この西地区の開発になるのか、そのあたりが今ひとつ分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川の駅舎の底地を取得するのは、徳島市となります。棧橋の維持管理も、徳島市と考えております。駅舎部分を実際に誰が運営していくのかについては、今後の検討となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅舎は一部屋というよりは、空間の方がいい。誰もが利用できる、開かれた空間がいい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船に乗る人は必ず駅舎を通ったり、寄ったりしないといけないということはないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その必要はないです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新町西地区の再開発の中で、駅舎だけ単独のゾーニングエリアというふうに考えているのか。</li> <li>・単独の駅舎を構えるとか待合所をつくるのではなく、他の施設と融合して、オープンなかたちで日常的に使われると、より西地区も良くなるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20坪程度をたたき台として、広さを示しています。店舗のような、いくつかあるスペースの中の一つというイメージです。独立したものは考えておりません。あくまでも、商業ビル内の一区画ということですが。</li> <li>・基本設計に着手したばかりですので、配置計画を含めてこれから検討していくようになります。その中で権利者の合意形成という重要な作業も入ってきますので、絶対この場所がよいというご要望には、必ずしもお答えできないケースがあります。それらも含めて川の駅の拠点となる施設はどのようなものがよいというご意見を頂いて、可能な限り反映させていきたいと考えています。</li> </ul>

キーワード	委員意見	事務局意見
<p>拠点となる川の駅舎について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽ホールของไฮเอとあったが、それはパース図の建物のだいがホールの向こう側になるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このパース図の赤色で少し見えている場所が大ホール、その向こうが小ホールというのが、都市計画素案のたたき台としての配置図です。これも基本設計はこれからですので決定したものではありません。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の前にある公園は、どういう位置づけか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新町橋西公園というのがあります。現状の公園を一度廃止しますが、形を変えて復元するというイメージです。あくまでも都市公園という位置づけです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船着場のバリアフリーも含めて、公園の面積さえ緑地帯として確保すればどこでもいいのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県との河川協議等である程度話をしています。大まかな変更というのであれば可能かと思います。これから基本設計に入りますので、これで決定というわけではありません。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派出所については、どうなっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開発事業には入らない旨、正式に県の方から返答を頂いています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンツーンに降りてくるには、新町橋の方からでなくても反対側にスロープをつくっても問題ない。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新町西地区の再開発ビルには、観光バスが止められるような駐車場はあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、施設区域内にはありません。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、両国橋へ船に乗りに来る観光バスは、停めてはいけないうちに停めている。交番の前に停めて黙認してもらっている状態である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光バスについては、阿波おどり会館前に大型観光バスを止められるスペースがあります。阿波おどり会館を見ていただいた方にこちらへ来てもらう、またその逆等、相互利用をお願いしたいと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿波踊り会館まで遠くはないが、やはり橋の上で乗り降りをする人が多い。</li> </ul>	

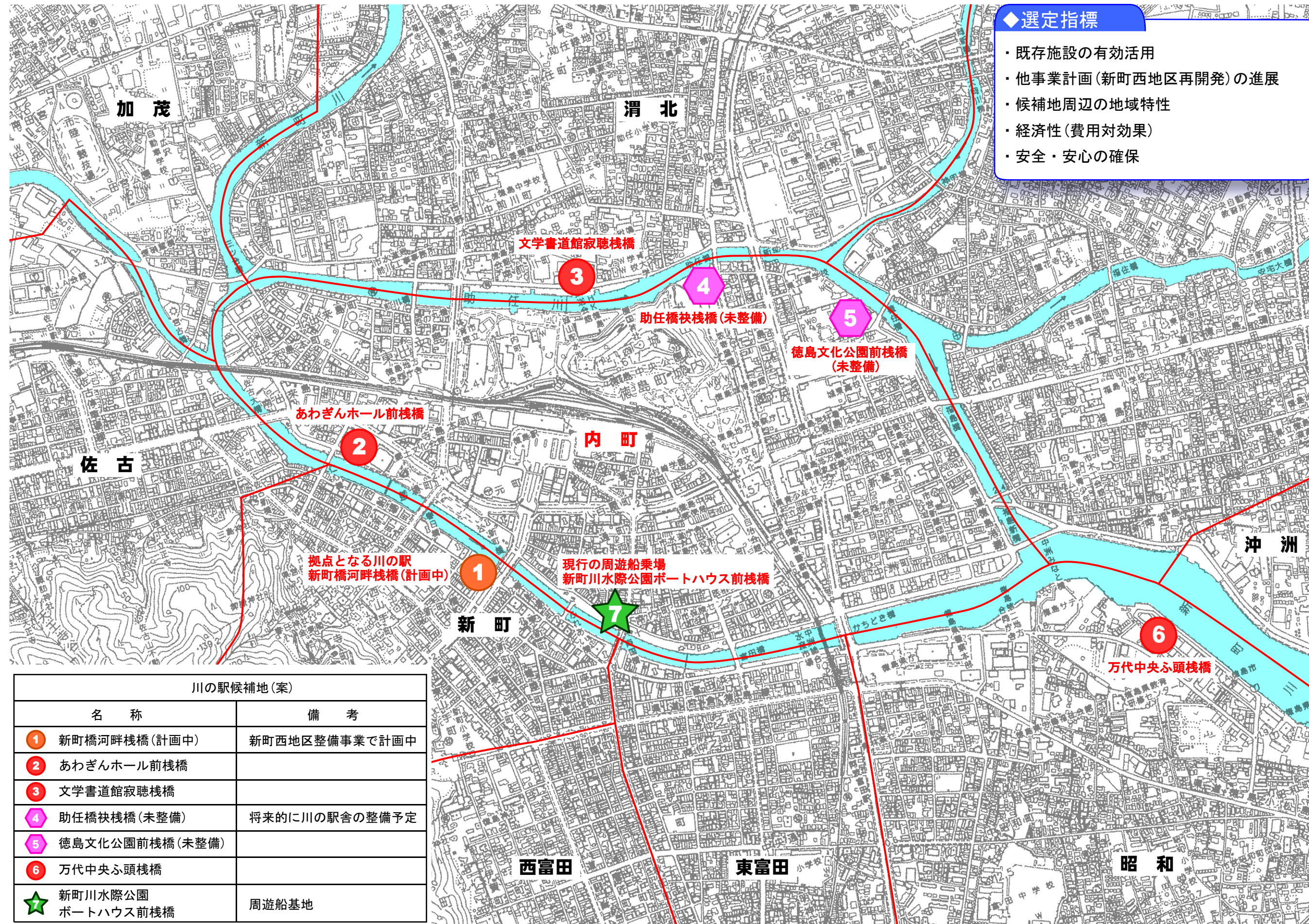
キーワード	委員意見	事務局意見
拠点となる川の駅舎について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船に乗っている間も、観光バスは橋の上にいるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新町橋通り沿いで、タクシー乗り場や、バスが停まれる場所をこれから検討することになります。</li> </ul>
	<p>その間はどこか走ってくるが、10分くらいは橋の上で待機している。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型バスはどれ位の頻度で来るのか。</li> </ul>	
	<p>月に10台は来る。大型駐車場を整備すれば、もっと人は来ると思われる。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークのできる川の駅のどこかに大型バスの止められる場所があったら、長い目で考えるとそれが集客や発展に結びつくのではないか。</li> </ul>	
シンボルエリアについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボルエリアというのは、以前からあったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島市としては新町橋を中心とした一定の区間を県内外の方にPRしていきたいというのが根底にあります。その中で川の駅構想とあわせてシンボルエリア的なものに関してご意見を頂きたいということです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なにか検討案のようなものが出てくるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たたき台はお示ししたいと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここから発進するのであれば、次回の会議で議論したらどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点となる川の駅と新町西地区の再開発をあわせて、このエリアを徳島市は「心おどる水都とくしま」という将来像の実現を目指しています。ここは県内外の方が徳島へ来て水都を実感できる、心癒されるというエリアを目指しています。その具体的なシンボリックイメージをお話しいただければと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボルエリアに関係する人は、この人達だけでいいのか。</li> </ul> <p>提案をしていただいて、検討していく。</p>	



キーワード	委員意見	事務局意見
シンボルエリア について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この構想会議でシンボルエリアの将来像が決定しても、実施されるわけではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここで全てが決まるというわけではないです。川の駅をいろいろ検討していただくにあたって、そういったイメージを一つの目標にしてにぎわいを点から面へというのを目指していきたいと思っております。既存の整備したのものも含めて、ここをどう活かしていくかということになると思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気が出るようなにぎわいをつくるのが、大きな目的の一つである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川の駅構想を進めさせていただくので、一つの目指すべきシンボリックなものを提案させていただきたいと思いません。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が位置づけてくれたら、前に進むということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もちろん川の駅構想策定とセットで、ある程度進めて行けると良いと思っております。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうたん島の景観事業というのを建築士会青年部で、20年以上前から活動をしている。アンケート調査やひょうたん島周遊船に乗って撮影会等も行った。2009年国交省のまちづくり担い手支援事業で補助金を付けていただきながら、ひょうたん島八景を策定した。その頃に緑化調査もふまえて両国橋周辺でもう少し新たな提案ができないかということで計画したものがある。それが今回シンボルエリアの景観策定ということで一度提案はしたが日の目は見ていない、模型も捨てようとしていたものを、ご紹介させていただけることになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このエリアは建築士会青年部さんで「あしたのひょうたん島」という、ひょうたん島を考える計画が立案されています。この計画は、長く継続されているので、それを埋もれさせてしまうのはもったいないという気もします。せっかく今まで積み上げてこられたものがあるので、それを踏まえて、この会から発信できればと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討だけではなく実際に生きてくるような、まちづくりににぎわいになっていくということがすごく大事になってくるので、そこまで含めてお願いしたい。</li> </ul>	

キーワード	委員意見	事務局意見
ソフト面について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は整備とかハードの部分を話し合っているが、実際にできあがったとき、ソフト面の部分も我々が責任を持つ必要があるのではないか。本当にハコモノだけをつくってこれで満足感をあげるというのではなく、ソフト面というものも今後ある程度検討していかないといけないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回に向け、次回に、整備した場所をどのような団体の方に、どのような使い方をして頂いたらふさわしいかといった観点から、一部ご報告をさせていただきます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物をつくっていかにそれを有効活用できるかという事が大事なので、どこかで検討しないとけない。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しいと思うが、体制というか気持ちをつくっておくと柔軟に対応できる。</li> </ul>	
WSについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WSまとめ、アンケートまとめを見て、にぎわいが伝わってきた。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WSまとめ、アンケートまとめには、情報がたくさん詰まっているので、今後の議論に活かしていきたい。</li> </ul>	

# 川の駅候補地の整備について



- ◆ 選定指標
- ・ 既存施設の有効活用
  - ・ 他事業計画(新町西地区再開発)の進展
  - ・ 候補地周辺の地域特性
  - ・ 経済性(費用対効果)
  - ・ 安全・安心の確保

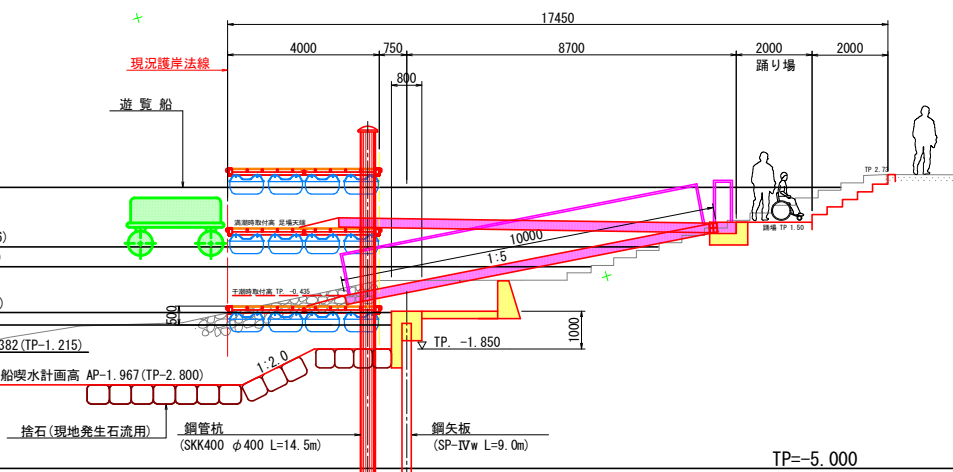
川の駅候補地(案)	
名称	備考
① 新町橋河畔棧橋(計画中)	新町西地区整備事業で計画中
② あわぎんホール前棧橋	
③ 文学書道館寂聴棧橋	
④ 助任橋袂棧橋(未整備)	将来的に川の駅舎の整備予定
⑤ 徳島文化公園前棧橋(未整備)	
⑥ 万代中央ふ頭棧橋	
★ 新町川水際公園 ボートハウス前棧橋	周遊船基地

\* 県庁前棧橋については、今後川の駅の利用状況等を見極めながら、将来的な検討課題とする。

# 助任橋袂棧橋

## 基本計画図 第1案 S=1:200

横断面 S=1:100  
①-① 断面



【助任橋袂棧橋】計画概要及び比較表

●計画コンセプト：ひょうたん島川の駅ネットワーク構想「川の駅」候補地点

	第1案	第2案	摘要
計画エリア	現況護岸法線内	現況護岸法線内	
係留船舶数 (L=7.52m)	2隻	2隻	
係留方式	係船杭 単棧橋 横付け式	係船杭 単棧橋 縦付け式	
浮き棧橋			
形状	B4.0m×L20.0m	B4.0m×L10.0m	
バース長	10.0m	10.0m	(0.7~1.2)L『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』
連絡橋 (W=1500)			
勾配	1:5 (20%)	1:4 (25%)	最低水位時で1:4以下『簡易係留施設設計マニュアル、日本マリーナ・ビーク協会』
延長	L=10.0m	L=8.0m	
スロープ (W=2000)			
勾配	1:12 (8.3%)	1:12 (8.3%)	1:12以下『とくしまコンテナターミナルまちづくり推進マニュアル』
踏り場	1箇所	1箇所	高さ75cm未満に1箇所『徳島コンテナターミナルまちづくり推進マニュアル』
駐輪場	1箇所	1箇所	
得失			
航路交角	30° 超	-	30° 以下が望ましい『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』
地形改変	小	大	

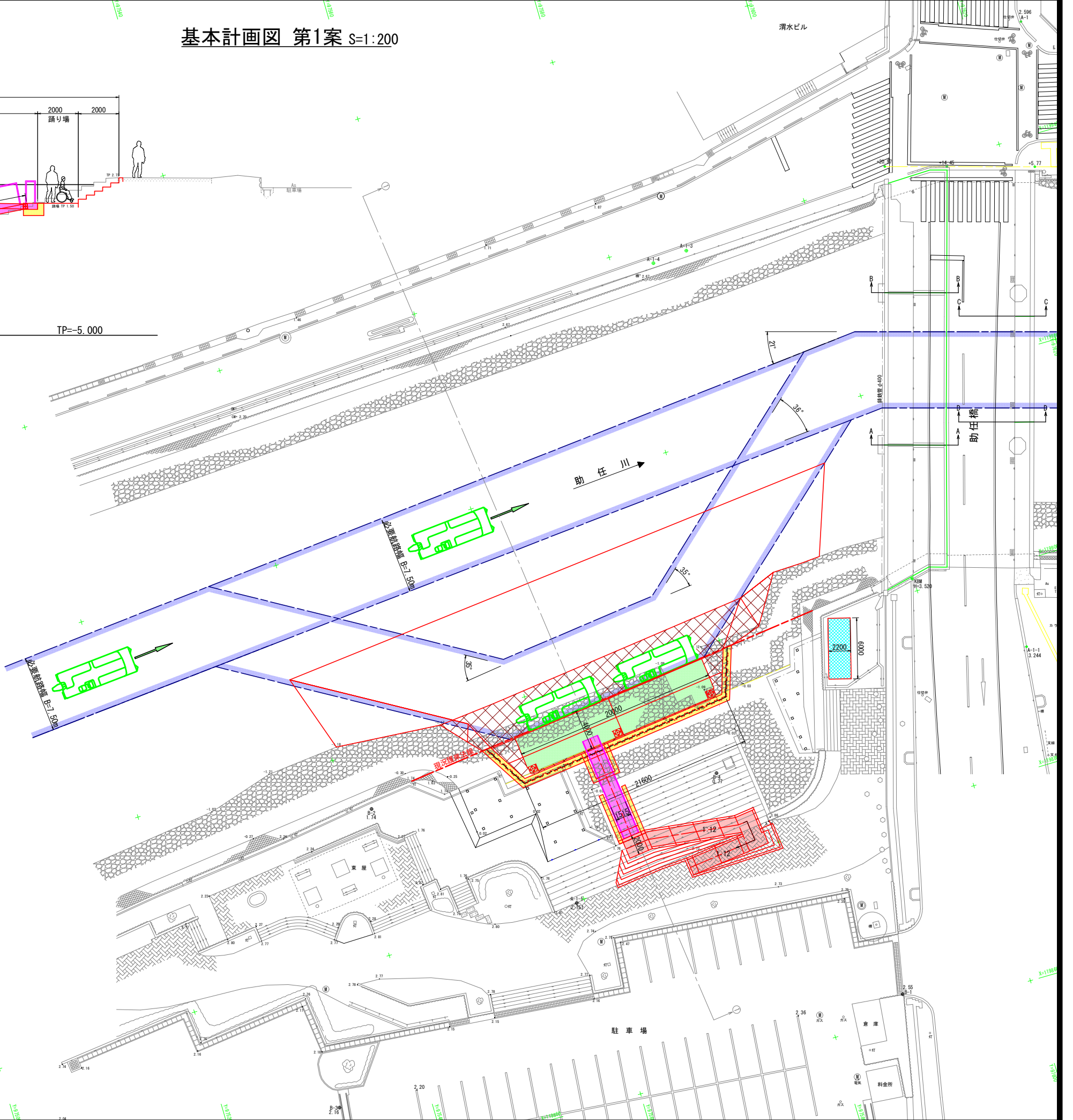
※基本的な設計計画条件は、H24西新町船着場基本計画に基づいている。

基準点座標一覧表

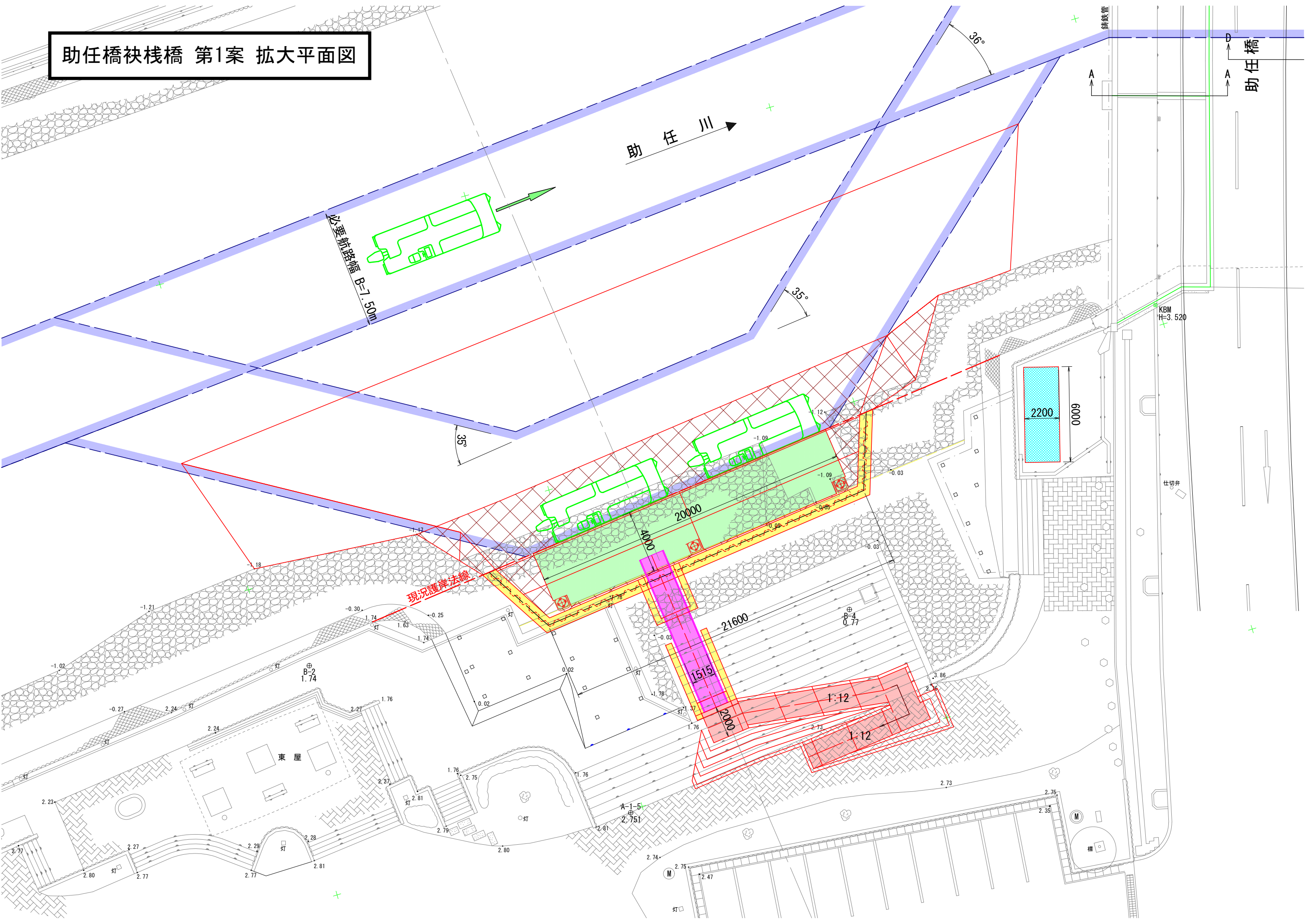
点名	X座標	Y座標
20A04	120198.054	97745.877
20A05	119898.549	97731.554
A-1	119951.000	97625.441
A-1-1	119891.700	97608.811
A-1-2	119927.910	97652.425
A-1-3	119938.524	97587.495
A-1-4	119938.243	97584.024
A-1-5	119879.806	97559.195
B-2	119894.337	97542.343
B-3	119866.976	97531.121
B-4	119888.246	97575.993

中心線座標一覧表

点名	X座標	Y座標
NO.0	119935.260	97628.320
+5.77	119936.878	97622.781
+14.45	119939.311	97614.450
+20.57	119941.027	97608.575



# 助任橋袂棧橋 第1案 拡大平面図



助任川

必要航路幅  
B=7.50m

現況護岸法線

東屋

助任橋

KBM  
H=3.520

仕切井

2200

6000

20000

400

21600

1515

2000

1:12

1:12

B-2  
1.74

B-4  
0.77

A-1-5  
2.751

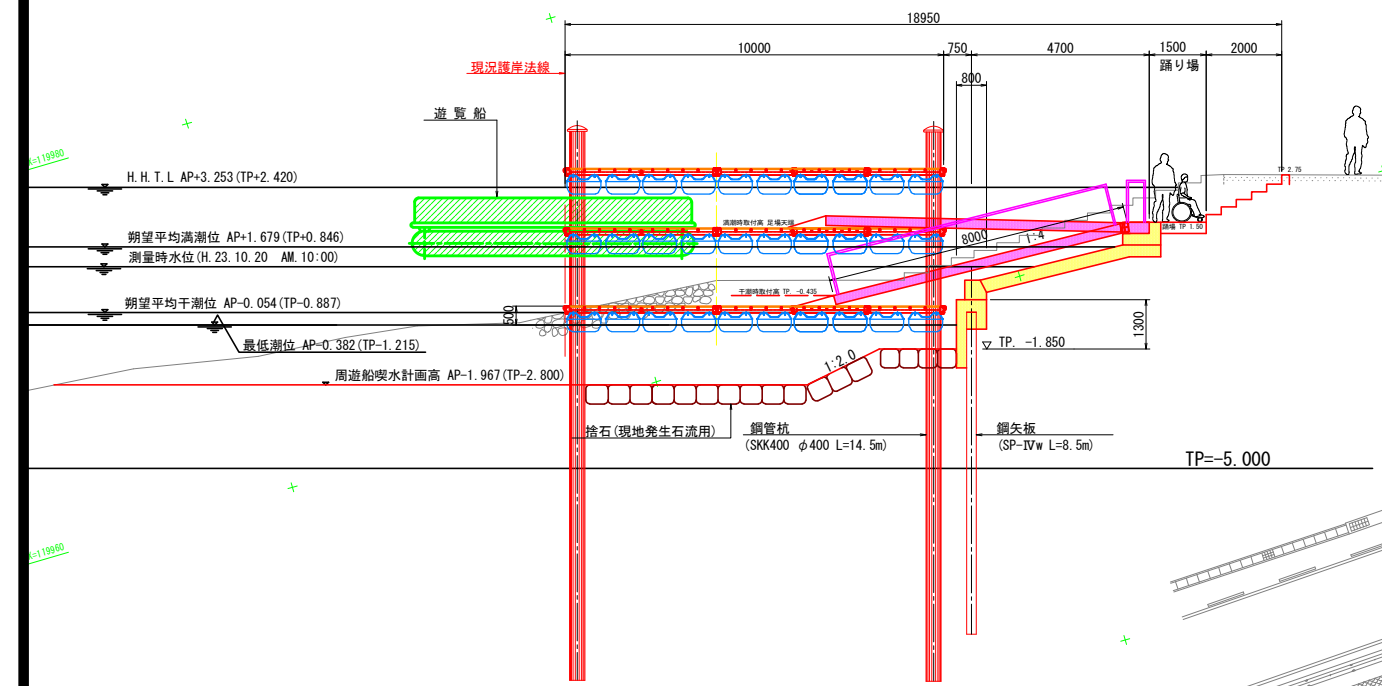
標

灯口

# 助任橋袂棧橋

## 基本計画図 第2案 S=1:200

横断面 S=1:100  
①-① 断面



### 【助任橋袂棧橋】計画概要及び比較表

●計画コンセプト：ひょうたん島川の駅ネットワーク構想「川の駅」候補地点

	第1案	第2案	摘要	
計画エリア	現況護岸法線内	現況護岸法線内		
係留船舶数 (L=7.52m)	2隻	2隻		
係留方式	係船杭 単棧橋 横付け式	係船杭 単棧橋 縦付け式		
浮き棧橋	形状	B4.0m×L20.0m	B4.0m×L10.0m	
	バース長	10.0m	10.0m	(0.7~1.2)L 『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』
連絡橋 (W=1500)	勾配	1:5 (20%)	1:4 (25%)	最低潮位時で1:4以下 『簡易係留施設設計マニュアル、日本マリンビル協会』
	延長	L=10.0m	L=8.0m	
スロープ (W=1500)	勾配	1:12 (8.3%)	1:12 (8.3%)	1:12以下 『とくしまコンテナターミナルまちづくり推進マニュアル』
	語り場	1箇所	1箇所	高さ75cm未満に1箇所 『徳島コンテナターミナルまちづくり推進マニュアル』
駐輪場	1箇所	1箇所		
得失	航路交角	30° 超	-	30° 以下が望ましい 『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』
	地形改変	小	大	

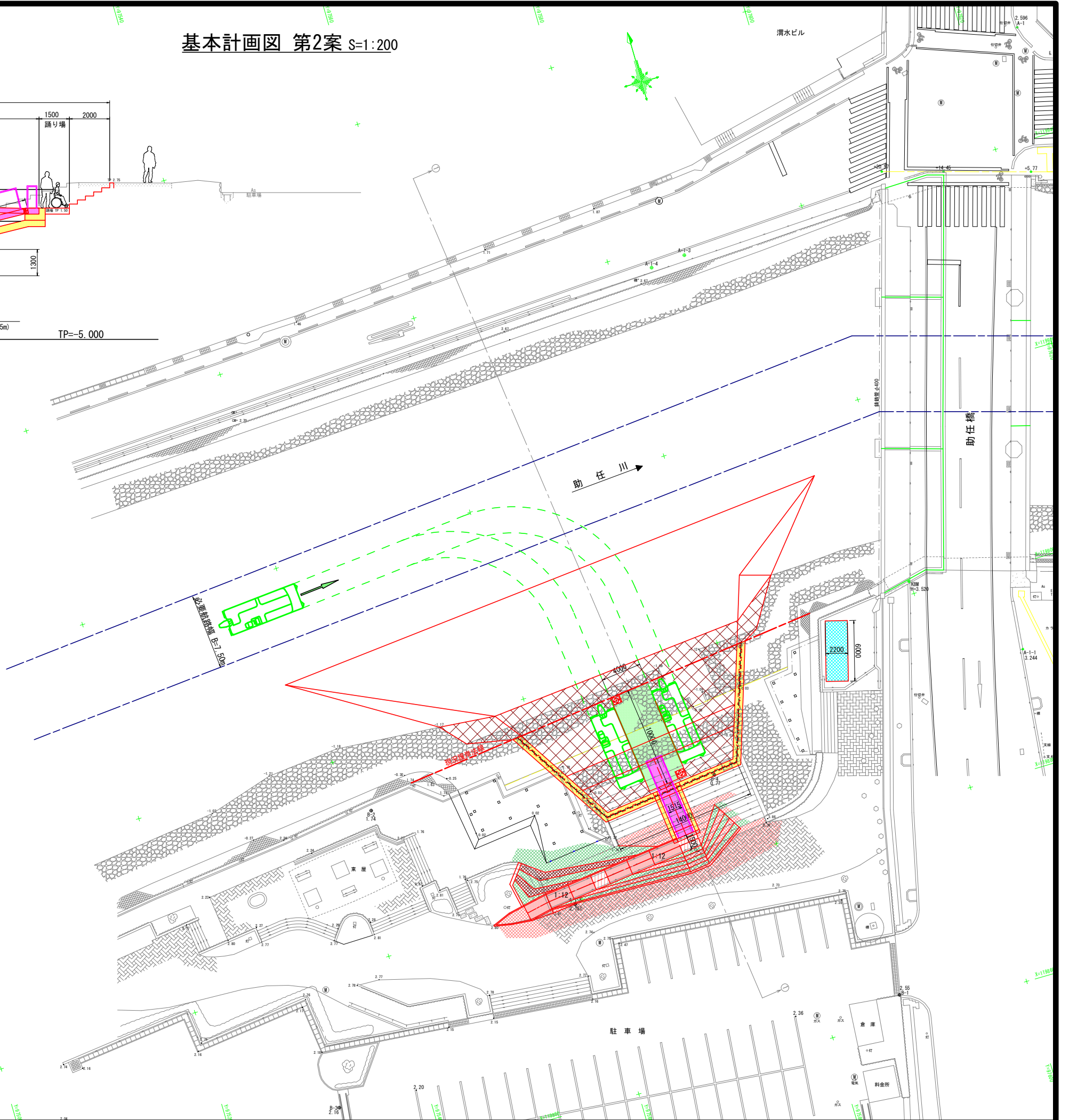
※基本的な設計計画条件は、H24西新町船着場基本計画に基づいている。

基準点座標一覧表

点名	X座標	Y座標
20A04	120198.054	97745.877
20A05	119898.549	97731.554
A-1	119951.000	97625.441
A-1-1	119891.700	97608.811
A-1-2	119927.910	97652.425
A-1-3	119938.524	97587.495
A-1-4	119938.243	97584.024
A-1-5	119879.806	97559.195
B-2	119894.337	97542.343
B-3	119866.976	97531.121
B-4	119888.246	97575.993

中心線座標一覧表

点名	X座標	Y座標
NO.0	119935.260	97628.320
+5.77	119936.878	97622.781
+14.45	119939.311	97614.450
+20.57	119941.027	97608.575



# 助任橋袂棧橋 第2案 拡大平面図

助任川

助1

必要航路幅 B=7.50m

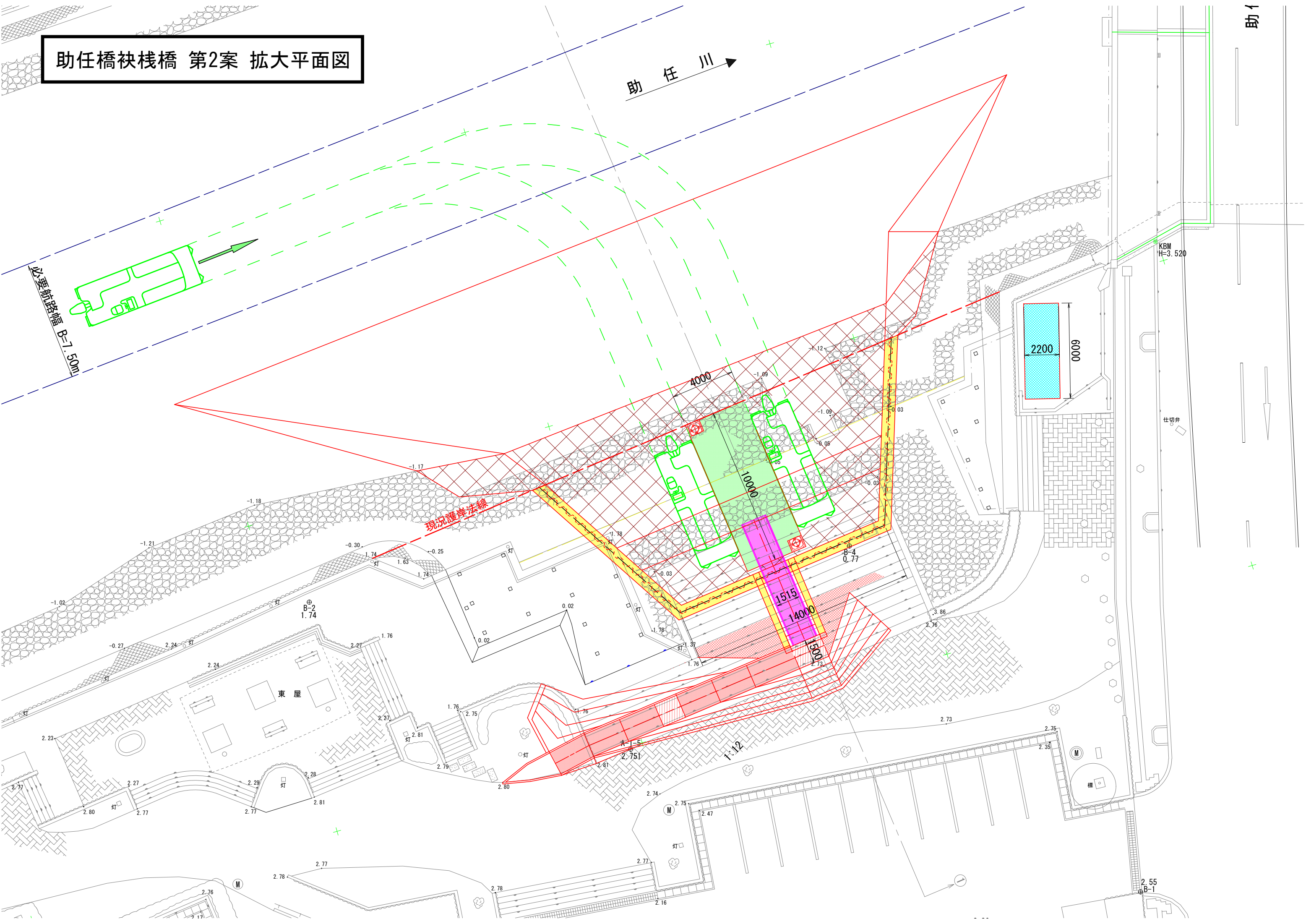
現況護岸法線

KBM H=3.520

仕切弁

標

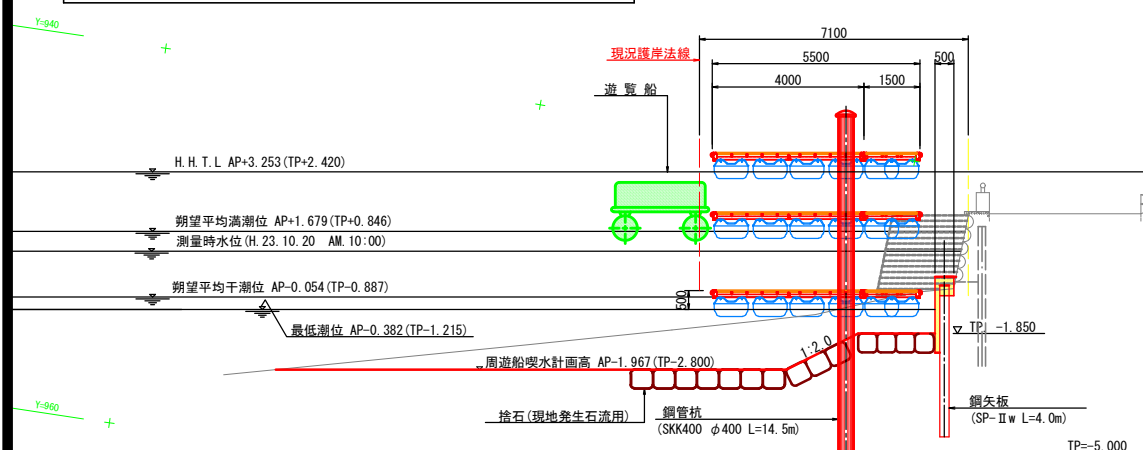
B-1



# 徳島文化公園前棧橋

横断図 S=1:100  
①-① 断面

基本計画案 S=1:200



【徳島文化公園前棧橋】計画概要及び比較表

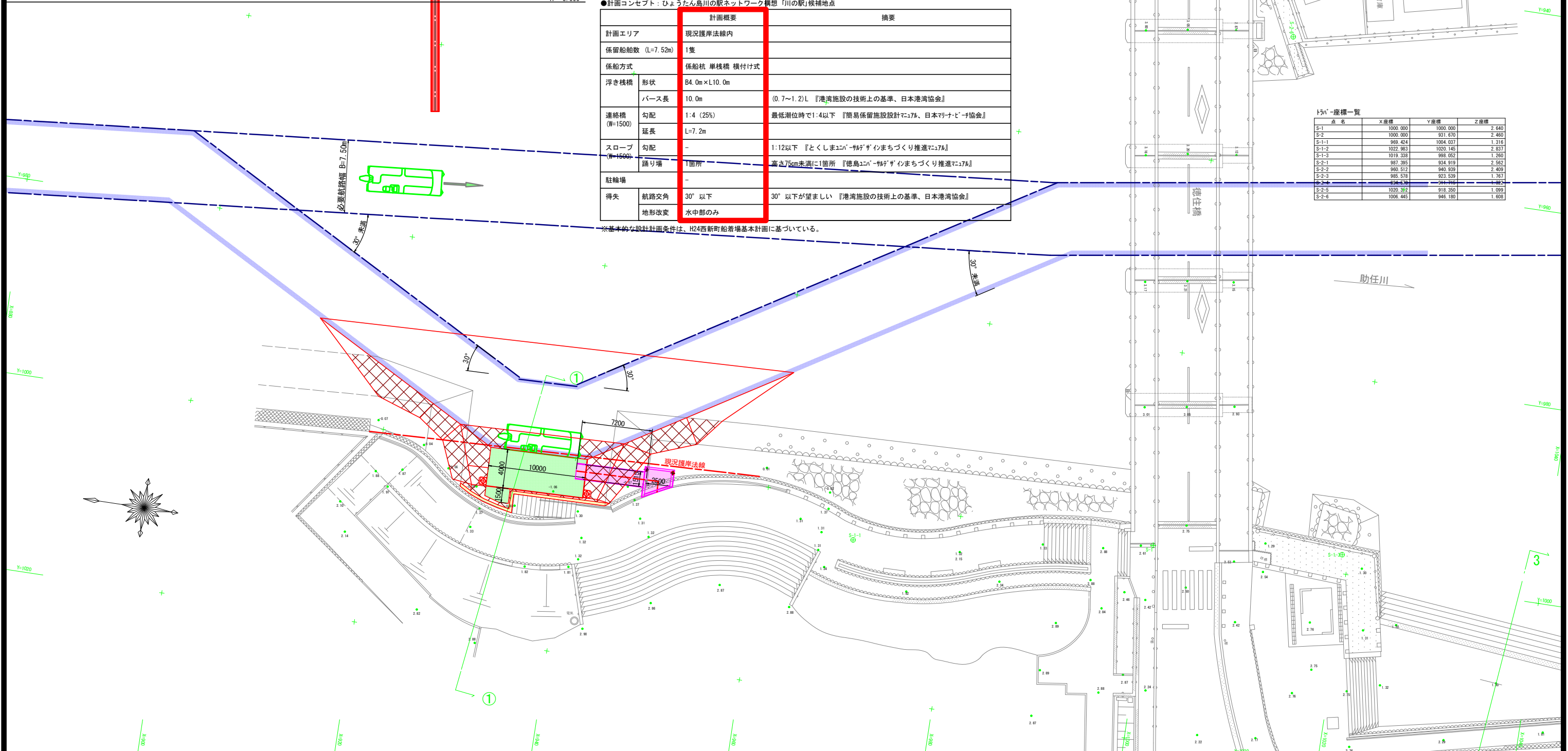
●計画コンセプト：ひょうたん島川の駅ネットワーク構想「川の駅」候補地点

	計画概要	摘要
計画エリア	現況護岸法線内	
係留船舶数 (L=7.52m)	1隻	
係船方式	係船杭 単棧橋 横付け式	
浮き棧橋	形状	B4.0m×L10.0m
	バース長	10.0m
連絡橋 (W=1500)	勾配	1:4 (25%)
	延長	L=7.2m
スロープ (W=1500)	勾配	1:12以下
	踏み場	1箇所
駐輪場	-	
得失	航路交角	30°以下
	地形改変	水中部のみ

※基本的な設計計画条件は、H24西新町船着場基本計画に基づいている。

10m<sup>2</sup>座標一覧

点名	X座標	Y座標	Z座標
S-1	1000.000	1000.000	2.640
S-2	1000.000	931.670	2.460
S-1-1	989.424	1004.027	1.316
S-1-2	1022.863	1020.145	2.537
S-1-3	1019.338	998.052	1.260
S-2-1	987.395	934.919	2.562
S-2-2	940.512	940.939	2.409
S-2-3	985.578	923.539	1.767
S-2-4	924.576	741.797	1.482
S-2-5	1020.312	918.350	1.099
S-2-6	1006.445	946.180	1.608

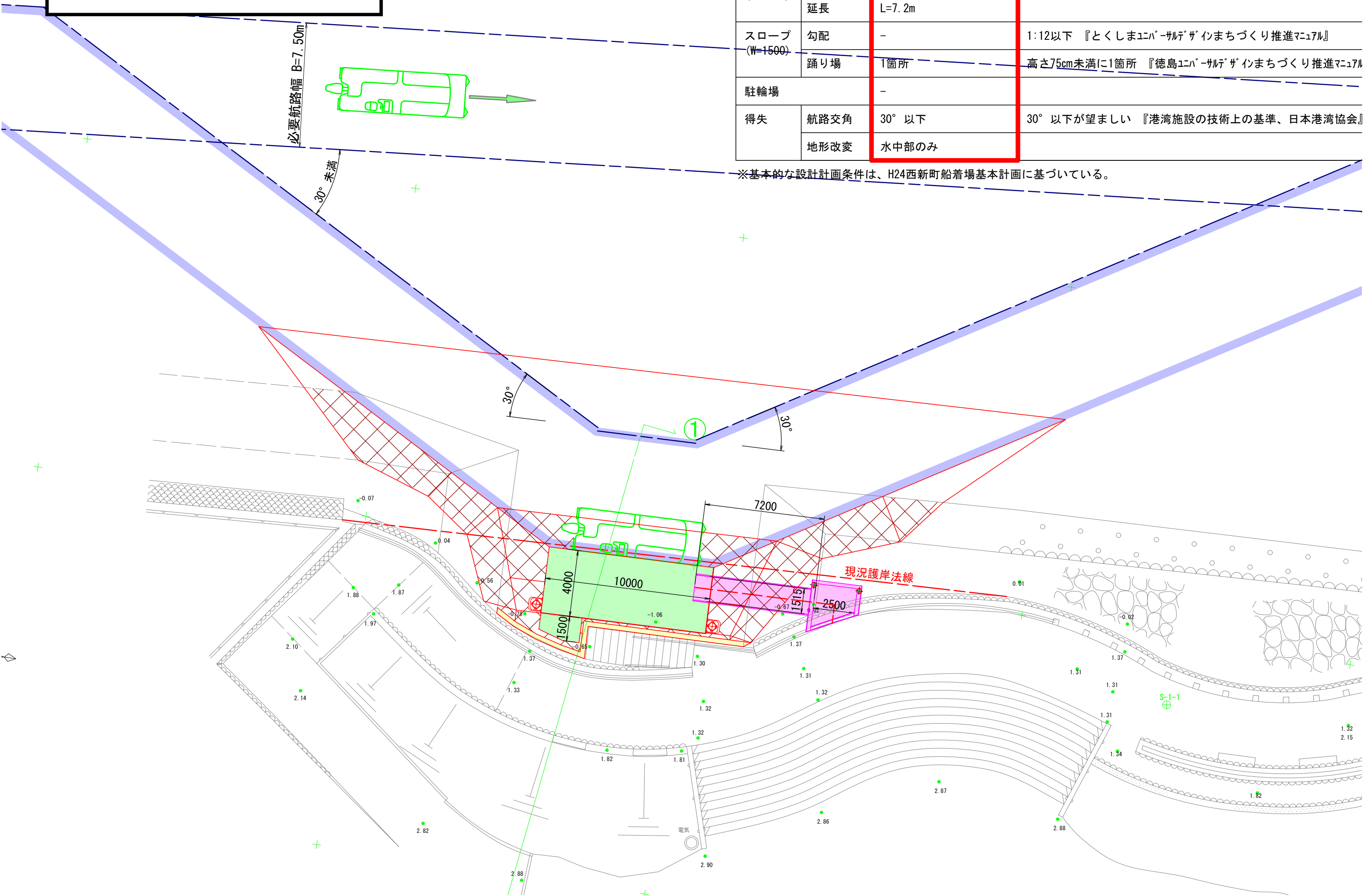




# 徳島文化公園前棧橋 拡大平面図

連絡橋 (W=1500)	バース長	10.0m	(0.7~1.2)L 『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』
	勾配	1:4 (25%)	最低潮位時で1:4以下 『簡易係留施設設計マニュアル、日本マリーナ・ビークル協会』
スロープ (W=1500)	延長	L=7.2m	
	勾配	-	1:12以下 『とくしまユニバーサルデザインまちづくり推進マニュアル』
駐輪場	踊り場	1箇所	高さ75cm未満に1箇所 『徳島ユニバーサルデザインまちづくり推進マニュアル』
		-	
得失	航路交角	30° 以下	30° 以下が望ましい 『港湾施設の技術上の基準、日本港湾協会』
	地形改変	水中部のみ	

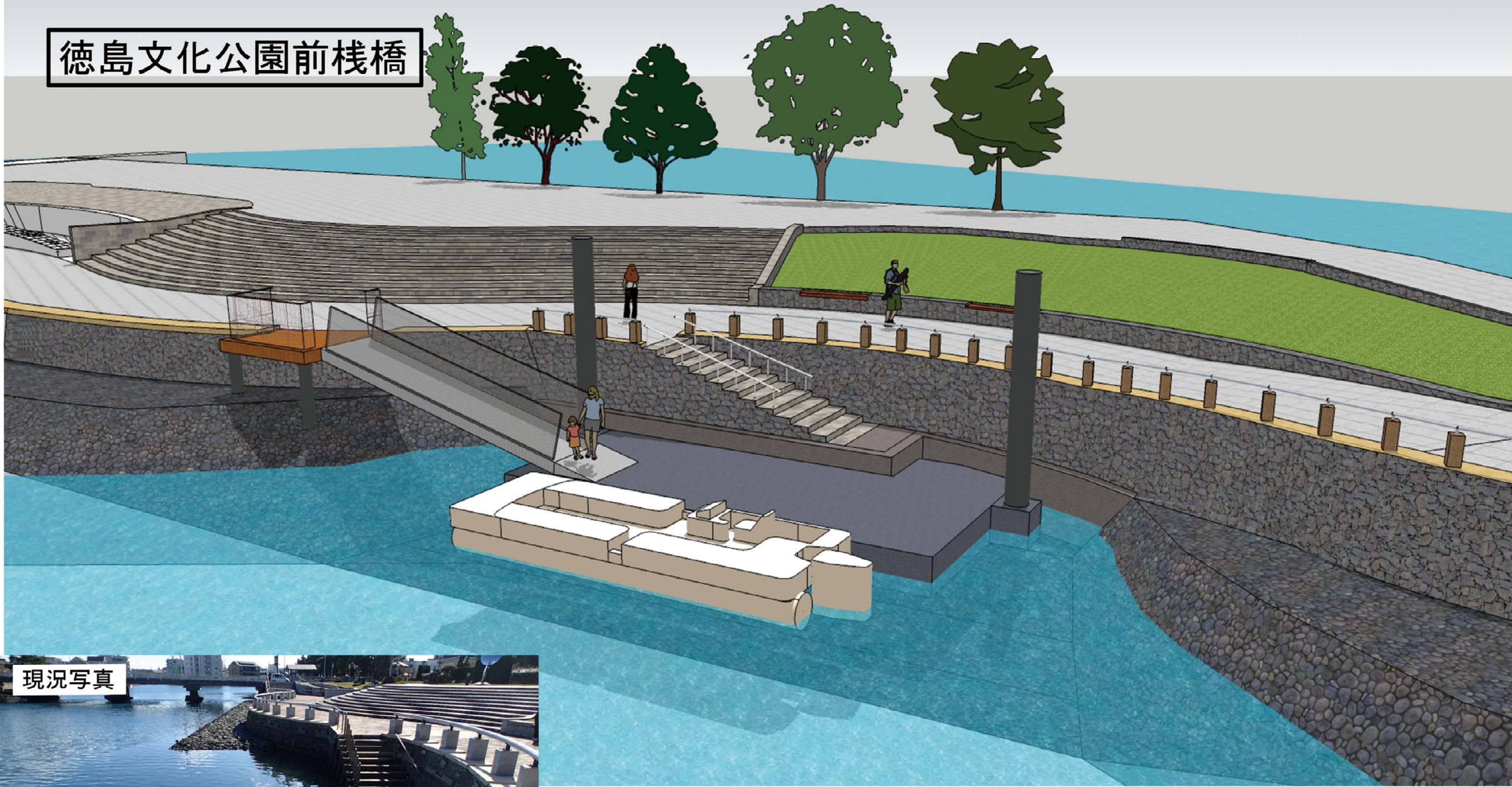
※基本的な設計計画条件は、H24西新町船着場基本計画に基づいている。



# 助任橋袂棧橋



# 徳島文化公園前棧橋



現況写真

## 拠点となる川の駅の駅舎について

本構想における「拠点となる川の駅」は、現在、新町西地区市街地再開発事業の中で、船着き場とその周辺の検討が行われている。

また、今までの川の駅ネットワーク市民構想会議において、川の駅に必要なものとして、川の駅の駅舎があげられている。

したがって、川の駅ネットワーク市民構想会議として、「拠点となる川の駅」の駅舎のイメージ検討を行い、そのイメージを新町西地区市街地再開発事業に提案するものとする。



図 1 「拠点となる川の駅」の船着き場イメージ図（新町西地区市街地再開発事業資料より）

### 【駅舎のイメージ】

- ・ 案内所となるもの 案内カウンターや駅長机とイスの設置等
- ・ 周遊船の待合室となるもの イスの設置、自動販売機などの設置
- ・ 簡単な会議室や展示室として使えるもの 川のパネル展示などができるもの
- ・ 20坪程度の広さのあるもの
- ・ 川や船着き場が見える場所
- ・ 新町西地区市街地再開発事業のイメージとシンボルエリア（新町橋～両国橋）のイメージを壊さないもの
- ・ トイレについては近傍のトイレを利用する

## 平成 25 年度ひょうたん島川の駅ネットワーク構想策定業務の進め方（案）

項目	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
第 2 回ワークショップ準備	ワークショップ計画	■												開催前にプレスリリースを行う
	開催日時・場所の決定	■												
	ワークショップ案内の作成	■												
	案内のPRと参加者募集		■											
	協力団体との事前打ち合わせ(個別ヒアリング)		■											
	協力団体との事前打ち合わせ(全体ヒアリング)		■											
	スタッフ資料作成および事前打ち合わせ		■											
	参加者事前送付資料の作成と送付		■											
ワークショップ当日配付資料の作成		■												
第 2 回ワークショップ開催	会場設営・ワークショップ開催・運営													
	アウトプット 川の駅候補地の紹介（周知） 川の駅候補地の検証 川の駅候補地での活動の検証 参加者および協力団体の意見抽出 ワークショップのまとめ			■	■									
第 4 回市民構想会議準備	第 4 回市民構想会議開催日時・場所の決定			■										開催前にプレスリリースを行う
	第 4 回市民構想会議レジュメ作成			■										
	第 4 回市民構想会議資料作成 第 2 回ワークショップ報告資料 第 2 回ワークショップアンケート報告資料 川の駅候補地（案）の提示資料 上記の技術資料および図面 今後の進め方イメージ（案）			■	■									
第 4 回市民構想会議開催	会場設営・会議運営・資料説明・質疑応答													
	アウトプット 川の駅候補地の検証・確認 川の駅候補地での活動の検証・確認 川の駅候補地（案）の検討 今後の進め方の承認 議事録まとめ				■	■								

項目	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
第5回市民構想会議準備	第5回市民構想会議開催日時・場所決定					■								開催前にプレスリリースを行う
	第5回市民構想会議レジュメ作成 合同ヒアリング(協力団体とのワーキング会議)				■									
第5回市民構想会議開催	第5回市民構想会議資料作成 第4回市民構想会議まとめ 川の駅候補地(案)の修正資料 シンボルエリア検討資料 第3回ワークショップ(案)の提示					■	■							
	会場設営・会議運営・資料説明・質疑応答 アウトプット 川の駅候補地(案)の承認 シンボルエリアの検討 ワークショップ開催への意見交換 議事録まとめ								■	■	■	■	■	
第3回ワークショップ準備	ワークショップ計画					■								開催前にプレスリリースを行う
	ひょうたん島博覧会との調整					■	■							
	合同ヒアリング(協力団体とのワーキング会議) スタッフ資料作成および事前打ち合わせ アンケート調査資料の作成							■	■					
第3回ワークショップ開催	ワークショップ開催 アウトプット 川の駅候補地の紹介(周知) 川の駅候補地の検証 川の駅候補地での活動の検証 参加者および協力団体の意見抽出 ワークショップのまとめ								■	■				
第6回市民構想会議準備	第6回市民構想会議開催日時・場所の決定								■					開催前にプレスリリースを行う
	第6回市民構想会議レジュメ作成 合同ヒアリング(協力団体とのワーキング会議)								■	■				
	第6回市民構想会議資料作成 第3回ワークショップの報告資料 シンボルエリア将来像の修正資料 川の駅ネットワーク構想(案)								■	■	■			

項目	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
第6回市民構想会議開催	会場設営・会議運営・資料説明・質疑応答 アウトプット 川の駅候補地の検証・確認 川の駅候補地での活動の検証・確認 シンボルエリア将来像(案)の承認 川の駅ネットワーク構想の確認 議事録まとめ													
報告	川の駅ネットワーク構想概要書作成 市民構想会議から市長へ構想提出 報告会の開催													開催前にプレスリリースを行う
今年度報告書作成	会議体のまとめ・技術検討のまとめ・考察 川の駅ネットワーク構想作成													

## 今年度の会議体の進め方とアウトプットのイメージ

### 第2回ワークショップ (2013.5.25 開催)

